

資料 - 1

本庄市マスコットキャラクターの

デザインが決定。愛称を募集します！

本庄市マスコットキャラクターデザインが決定しました

決定したデザインは愛称募集チラシ（別紙）をご覧ください。

決定までの経緯

デザインの一般公募...平成22年4月1日～5月31日（応募総数 1,150 点）

審査委員会（一次選考）...平成22年6月12日（45点を選出）

製作委員会（最終選考）...平成22年6月28日（1位～7位までの作品が決定）

製作委員会で選ばれた大賞作品（1点）について、商標登録の類似調査を実施後、デザインの修正を行いました。

実行委員会（最終決定）...平成22年7月22日（大賞作品が決定）

応募作品ジャンル別内訳

動物（126点）、植物（123点）、郷土の偉人（80点）

きゅうり（100点）、なす（32点）、ねぎ（37点）、その他農産物（74点）

つみっこ（146点）、シルク産業（66点）、その他名産品（25点）

景観（52点）、まつり等イベント（45点）、文化財（70点）、その他（174点）

愛称を募集します

別紙のとおり、各団体広報媒体、新聞折り込み、ポスター、チラシ等で募集をPRする予定です。

その他

今後のスケジュール

（1）愛称募集（一般公募） 8/2～8/31

（2）愛称の選考 9/上～中旬

実行委員会による選考及び市内小中学生による投票

（3）キャラクター発表 10/中～下旬

<問い合わせ等>

本庄市マスコットキャラクター実行委員会（本庄商工会議所内） 0495-22-5241

本庄市企画課 0495-25-1157

愛称大募集

採用となった「愛称」の応募者の中から（抽選で）一名様に「1万円」を贈呈します。

名付け親になってネ!



マスコットキャラクターは本庄市から出土した
 わら たてもちじんぶつはにわ
笑う盾持人物埴輪
 が、デザインのモチーフになっています!

募集期間

平成22年

8月2日(月) ~ 8月31日(火)

※「愛称」応募の締め切りは、8月31日(火) 必着とします。

応募作品数1150点の中から厳正な審査の結果
 上記キャラクターに決定しました。
 ご協力ありがとうございました!

決定
 本庄市
 マスコットキャラクター

応募できる人

本庄市への熱い思いを持つ人であればどなたでも!

応募方法

はがき又はチラシ応募用紙に記載事項をもちろん記載して、郵送または持参してください。

記載事項

- (1) 応募する「愛称(ふりがな)」
- (2) 愛称に対するコメント
※愛称の意味や、プロフィール作りの参考となる事項等。
- (3) 氏名(ふりがな)・郵便番号・住所
 電話番号(昼間ご連絡が可能な番号。携帯可)
※一人何点でも応募できますが、一応募につき一点までとします。
 「愛称」は必ず、黒インクのボールペンで自筆で書いてください。

入賞作品の選考と発表

実行委員会の厳正な選考によって決定し、本庄市、本庄商工会議所、児玉商工会、JA埼玉ひびきの等の広報及びホームページ等で発表します。入賞者については文書で通知します。なお採用となった愛称の応募者が複数の場合は、抽選となります。

その他注意事項

「愛称」に関する一切の権利は、採用と同時に実行委員会に帰属します。また、応募規定に違反する事項が認定された場合は、入選後でも資格を取り消すこととします。

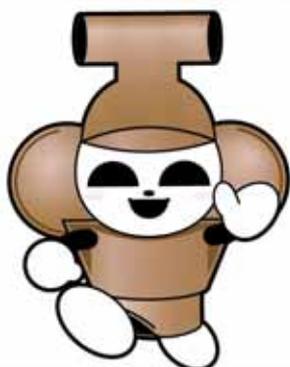
持参先・「愛称」応募用紙チラシ配布場所

本庄市企画課(市役所3階)、本庄市児玉総合支所総務課(総合支所2階)、本庄商工会議所、児玉商工会、JA埼玉ひびきの(本庄北支店・本庄南支店・児玉支店)

郵送・お問い合わせ先

本庄市マスコットキャラクター実行委員会(本庄商工会議所内)
 〒367-8555 埼玉県本庄市朝日町3-1-35 ☎0495-22-5241

大賞作品



応募作品の審査結果

応募された作品は、本庄市内外から総数1150点集まりました。その中から、実行委員会の厳正なる審査の結果、大賞(1点)と入選作品(4点)を決定いたしました。

入選作品



入選作品



入選作品



入選作品



有形文化財として成身院の三仏が、天然記念物として八幡神社のヤブツバキと社叢林ほか2件が、新しく本庄市の文化財に指定されました。

概要

7月9日の本庄市文化財保護審議会で審議され、7月22日の定例教育委員会において、有形文化財1件と天然記念物3件の計4件が新しく本庄市指定文化財に指定されました。

成身院の三仏 児玉町小平の成身院百体観音堂には、室町時代に造立された仏像3体があります。このうち木造阿弥陀如来坐像は、胎内に墨書があり、応永12年(1405年)に下総国北相馬郡黒崎郷(現茨城県取手市)で造立されたことがわかります。また、木造釈迦如来坐像については、紀年銘の胎内墨書が張木のため見えない状況となっていますが、天文15年(1546年)の補修の墨書が内容とも先の阿弥陀座像と同じであり、阿弥陀坐像とともに黒崎郷で造立されたものと推定されます。また、木造薬師如来坐像は、底部墨書に寛正7年(1466年)に造立の記載がみられ、武蔵国那賀郡小平郷(現本庄市児玉町小平)で造られたことがわかります。これら3体の仏像は、造立年及びその経緯を示す墨書があり貴重なものであるところから、有形文化財(彫刻)に指定されました。

八幡神社のヤブツバキと社叢林^{しゃそうりん} 児玉町児玉にある八幡神社境内にあるヤブツバキは、市内でも珍しい貴重な古木であるとともに、境内にはケヤキの古木による「鎮守の森」が形成されており、市内でも有数の古木によって構成された社叢として市民にも親しまれているところから、それぞれ独立した樹木として捉えるのではなく一括して捉え、天然記念物に指定されました。

思池のマルバヤナギ^{おもいけ} 児玉町児玉の思池親水公園内に3本のマルバヤナギの古木があります。マルバヤナギは、湿地を好む性質のため多くが水辺に自生するもので、扇状地地形で比較的乾燥した児玉地域では珍しい樹木です。マルバヤナギは市内でも珍しく、湧水池であったかつての思池を偲ばせる存在として市民にも親しまれている古木です。このことからこの3本を一括し、天然記念物に指定されました。

石神神社のケヤキとスギ^{せきじん} 児玉町小平の石神神社境内にあるケヤキとスギの二本の古木は、氏子のみならず地域の人々に親しまれています。現在、市内でこれだけの大木・古木が一か所に現存する場所はほとんど見られず貴重な存在であるところから、この二本の古木を一括し、天然記念物に指定されました。

問合せ先： 本庄市役所（4階）
本庄市教育委員会
文化財保護課
TEL 0495(25)1186

成身院の三仏の概要

本庄市児玉町小平にある真言宗寺院の成身院境内堂の百体観音堂には室町期に造立された三仏が伝来する。

三仏は木造阿弥陀如来坐像・木造釈迦如来座像・木造薬師如来坐像で、いずれも室町時代に造られたもので、仏像胎内及び底面に由緒を示す墨書がある。

この三仏の由緒については、墨書によれば、阿弥陀像と釈迦像の2軀については、応永12年(1405年)に下総国北相馬郡黒埼郷米井村(現在の茨城県内)で作られたもので、理由は不明ながら寛正7年(1466年)の約60年の間に成身院に移されたと考えられている。もう一軀の薬師像については、阿弥陀・釈迦の2軀の仏像が成身院に移されてから、移されなかったもう一軀の仏像を補うため小平村で作られたものと思われ、寛正7年に作られている。

この年に成身院に三仏がそろい、また成身院にこの三仏を納めるために三仏堂も建設されたものと思われる。三仏については、天文15年(1547年)に彩色などの補修が加えられた事も銘文に見えている。三仏は成身院の三仏堂に納められていたが、現在は三仏堂が老朽化したため同じ境内堂の一つの百体観音堂に納められている。

木造阿弥陀如来坐像

法量 像高 48 cm 顔上下 12 cm 底面幅 43.5 cm

胎内及び底面に墨書あり。応永12年(1405年)に下総国で製作された。

木造釈迦如来座像

法量 像高 48 cm 顔上下 12 cm 底面幅 40 cm

底面に墨書あり。阿弥陀像とともに下総国で製作されたと推定される。

木造薬師如来坐像

法量 像高 51 cm 顔上下 13 cm 底面幅 44.5 cm

底面墨書によれば、寛正7年(1466年)に小平で製作されたもの。

八幡神社のヤブツバキと社叢林について

本庄市児玉町児玉 198 番地に鎮座する八幡神社は、社殿によれば源義家の奥州合戦まで由来が遡る古社である。以後、時代時代の有力者の庇護のもと発展し、この地域の信仰の中心となった。広い境内には各所に樹木が植えられており、鎮守の森にふさわしい景観を呈していた。しかしながら倒木や枝の繁茂、落葉の増加など様々な理由で樹木が伐採されるケースが増加し、境内の樹木数が減少している。それでも境内各所にはケヤキの大木が多く残り、市民の憩いの場ともなっている。この八幡神社のように児玉市街地に多くの古木が集中する例は他には見られずたいへん貴重な場所である。

現在境内にはヤブツバキ・ケヤキ・イチョウ・モミジなどの樹木が数 10 本植えられているが、中でもヤブツバキは目通しで 1 メートル 55 センチメートルもあり、貴重な古木である。また本数の多いケヤキは、目通しで 2 メートルを超えるものが 20 本近くある。さらにこの内、3 メートルを超えるものが 13 本もあり、この様に巨木が一か所に集中している場所は珍しく、この環境を将来へ大切に伝えていかなければならないと思われる。



思池のマルバヤナギについて

本庄市児玉町児玉 1746 番地の児玉思池親水公園内に3本のマルバヤナギの古木が生えている。この親水公園は国道254号線バイパスの両側に所在し、マルバヤナギはバイパス西側の公園内に所在している。

かつて児玉の思池は東西に細長く所在したものと思われるが、水位の低下やほぼ中央をバイパスが通過したことにより池が分断され、現在はバイパスの東側に池が残っている。マルバヤナギは西側の思池の端に生えていたもので、池は消滅したが、このマルバヤナギが池のあった当時を偲ばせている。

マルバヤナギは、ヤナギ科に属する落葉高木で、大木になると樹高が20メートルにも達する。葉が楕円形をしていて幅が広いことからこの名がある。別名をアカメヤナギともいい、若葉が赤くなることからそう呼ばれている。

マルバヤナギは水辺に多くが自生しており、湿地を好む性質のため、水利に恵まれない児玉地域では珍しい樹木である。

思池親水公園には3本のマルバヤナギがまとまって自生しているが、いずれも古木であり、幹回りが2メートルを超えるもので、内2本については3メートルにも達しようかという位、幹が太い。現在、本庄市内ではマルバヤナギの分布は珍しく、かつ目通しで2メートルを超えるものはたいへん貴重である。

思池親水公園のマルバヤナギの規模（北側より）

1	目通し	2メートル80センチメートル
2	目通し	2メートル20センチメートル
3	目通し	2メートル90センチメートル

石神神社のケヤキとスギについて

本庄市児玉町小平1番地に所在する石神神社は、社殿によれば天正19年(1591年)に社地を開き、慶長元年(1596年)に創立されたと伝えられる古社である。小平地区の鎮守として地区住民から厚く信仰されている。秋季大祭では本庄市無形民俗文化財に指定されている小平獅子舞が奉納される。

当社には御神木の大ケヤキと大スギの2本の巨木がある。中でも社殿右横にあるケヤキは目通しで5メートルを測る大木で、江戸時代初期に石神神社社殿の建立に伴って植樹されたものと推定される。まっすぐに上に伸びた木は近づくとその巨大さに驚かされる。このケヤキは本庄市本庄の城山稲荷神社の埼玉県指定のケヤキに次ぐ規模で、市指定の山王堂日枝神社のケヤキと比べても見劣りしない。かつ、途中に瘤がなく直立した様は見事である。永く御神木として大切に守られてきたものである。

もう一本のスギは、社殿左手奥に所在し、目通しで4.6メートルを測る巨木である。この杉も4メートル以上の太さで上に伸びており、見事なものである。このスギもケヤキとともに社殿の左右に位置しており大切に守られてきたものである。

石神神社のケヤキとスギは、その規模といい、児玉地域では最大の樹木であり、神社の歴史とともに生育した巨木であり極めて貴重なものと思われる。

小平 石神神社のケヤキとスギの規模

ケヤキ	目通し	5メートル
スギ	目通し	4メートル60センチメートル



成身院の三仏



阿弥陀像の胎内墨書



八幡神社のヤブツバキと社叢林 (ヤブツバキ)



思池のマルバヤナギ



八幡神社のヤブツバキと社叢林(ケヤキ)



石神神社のケヤキとスギ



資料 - 3

「“涼しくするぞ！本庄”打ち水大作戦2010」の実施について

1. 趣旨

昔は、朝夕に一時の涼を得たり、お客様を迎えたりするときに玄関や庭先に打ち水をする習慣がありました。水は蒸発するときに熱を奪うため、打ち水をすると涼しくなります。これは近年、自然環境や健康などに悪影響を及ぼすことが問題となっているヒートアイランド現象の緩和にもつながります。

そこで、庶民の生活の知恵「打ち水」を行い、真夏の気温を2 さげようという社会実験を行うとともに、「打ち水を本庄の風物詩にしよう」とするものです。

2. 実施項目

- (1) “涼しくするぞ！本庄”打ち水大作戦2010
- (2) “涼しくするぞ！本庄”打ち水大作戦2010 事前学習
- (3) “涼しくするぞ！本庄”打ち水大作戦2010 (メインイベント)

3. 実施内容

- (1) “涼しくするぞ！本庄”打ち水大作戦2010
 - ・日 時：平成22年7月23日(大暑)から8月23日(処暑)までの間
 - ・場 所：市内全域
 - ・内 容：大暑から処暑までの間、市民にお願いし一人ひとりができる方法、できる時間で打ち水を実施していただくことで、環境負荷の軽減に努めるとともに、打ち水を本庄市の風物詩にします。

- (2) “涼しくするぞ！本庄”打ち水大作戦2010 事前学習会
 - ・日 時：平成22年7月31日(土)午前10時
 - ・場 所：市役所大会議室
 - ・内 容：小学生の夏休みの自由研究の一つとし、(財)埼玉県下水道公社のオープン下水道実験室を利用して、「ふしぎ？ いっぱい！ 下水道教室」を主題とした講座を開設するとともに、実際に打ち水を行っていただき、打ち水のやり方や、気温の低下の状況を確認できるような事前学習とします。
 - ・対 象 者：市内の小学4年生以上の小学生とその家族 30組

- (3) “涼しくするぞ！本庄”打ち水大作戦2010 (メインイベント)
 - ・日 時：平成22年8月3日(火)午後3時
 - ・場 所：旧中山道(千代田3丁目交差点～図書館入口まで)宮本町自治会内
 - ・内 容：“涼しくするぞ！本庄”打ち水大作戦2010のメインイベントとして、市民が一斉に打ち水を行い、気温の変化状況を調査するなどの社会実験を行います。
 - ・雨天の場合：中止

資料 - 4

情報名	お <small>すがた</small> 姿 <small>なが</small> 流し
日時	7月31日(土)午後6時～
主催	金 <small>かなさな</small> 鑽神社
場所	若泉第一公園(本庄市中央3-4)
交通	JR高崎線 本庄駅下車 徒歩約15分 関越自動車道 本庄・児玉ICより車約6分 国道17号 照若町交差点より車約3分
内容	夕方より公園のせせらぎにおいて、金鑽神社の「茅の輪くぐり」をして無病息災を願い、自分の身の汚れを型紙に込めて水に流し去る行事です。 夏の涼を求めて、2千人以上の人々で10時頃まで賑わいます。
関連するホームページアドレス	http://www.honjo-kanko.jp
照会先	金鑽神社 0495-22-3267 本庄市観光協会(本庄市役所商工課内) 0495-25-1111

